

2023 年度

松山市立伊台保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。
また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年2月1日（木）～2月29日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年3月22日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念に則り、子どものありのままの姿を受け止め、一人ひとりの違い（個性）を認め合いながら、共感することを大切に、全職員が一人ひとりの子どもと丁寧に関わってきた。
子どもの発達援助	四季折々の散歩を通して、五感を使い、心を弾ませ、好奇心は大いに高まった。今年度は、異年齢のふれあいを多く持つことで思いやりや憧れが見られ、子ども自身の肯定感が高まった。今後も育ちあいを大切にしていきたい。
保護者に対する支援	全職員が子どもをあたたく見守り、保護者との日常の会話を大切に、成長や発達を共有し、ともに育てる関係を育んできた。親子がふれあい、保護者同士が繋がるきっかけとなる行事や親子活動を、今後更に工夫していきたい。
保育を支える組織的基盤	外部研修へ計画的に参加し、園内研修では不適切保育や誤食防止など子どもの安心・安全のための研鑽を重ね、職員の共通理解を高めた。今後も研鑽を重ね、話し合いを大切に、チーム一丸となった保育を目指したい。

総評
<p>子ども達が毎日笑顔で元気に過ごすことが願いであり、その為に私たち職員は安心・安全な環境をつくり、あたたかい配慮を心がけてきました。また、今年度は更に不適切保育について研修を繰り返すことで、子どもの視点になって自分の保育を振り返り、全職員が子ども一人ひとりに寄り添い、気持ちを汲み取ることを大切に、子ども主体の保育を行ってきました。</p> <p>今後も職員間の話し合いを大切に、意見を出し合い、協力しあうチームとなり、子どもを真ん中に保護者と職員が心を通わせ、みんなで見守り・育ちあう、あたたかい保育園づくりに努めていきたいと思っております。</p>